

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：総務管理費 目：文書費

事業名 **新** 県庁舎書庫再整備事業（フロア書庫移動棚）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

総務部 法務・情報公開課 文書・情報公開係 電話番号：058-272-1111（内 2119）

E-mail： c11124@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 0 千円 （前年度予算額：0 千円）

※ 債務負担行為限度額： 444,200 千円（R4）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

本庁の公文書は、その処理が完結した年度の翌々年度に庁舎内の書庫へ移管・集約し、一定のセキュリティーの下に効率的な管理を行っているが、その移管前においては、各所属の執務室、倉庫等において分散保管を行っている現状にある。

令和4年度中の開庁を目指す新県庁舎では、文書管理のさらなる適正化・効率化を図るため、現状、各所属において分散保管している公文書を書庫の保管対象に含めることとする。また、その書庫は、事務効率を考慮して執務フロアの各階に配置した上、収納効率を高めるため、手動式移動棚を設置することとする。

(2) 事業内容

新県庁舎の執務フロア（4階、5階、7階～17階）の書庫に、手動式移動棚を設置する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10 / 10

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	0	手動式移動棚の設置（債務負担行為限度額 R4：444,200）
合計	0	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担（事業終期の考え方及び今後の財源の動向）

	令和3年度	令和4年度	合計
手動式移動棚の設置	0	444,200	444,200

(2) 事業主体及びその妥当性

県公用設備の整備を実施するものであり、事業主体は県である。

事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

効率的かつ適正な文書管理の実現を図るため、文書保管のための手動式移動棚を設置する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

書庫内への移動棚の設置であり、指標を設定することは困難である。

(前年度の取組)

(前年度の成果)

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	県が保有する大量の文書を、限られたスペース内で効率的に保管・管理するため、手動式移動棚の設置が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	